

タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

川根地区(実施日:平成29年8月22日)

対応状況・反映状況の凡例
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの
 ○…前期基本計画に反映したもの
 ×…前期基本計画には反映しないもの
 -…質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
1	過疎債の利用はないのですか。	島田市過疎地域自立促進計画に基づく事業について、例えば、市道、林道整備やスクールバスの更新、簡易水道施設の整備に過疎債を活用していきます。	-	
2	2060年の人口を8万人に留めるという目標数値が計画内容からどう推計されたのか説明をお願いします。	2060年の人口を8万人に留めるという目標数値は「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の中で定めている目標数値と整合をとっています。 その目標を達成するために、第2次島田市総合計画の策定内容は総合戦略を包含し、人口減少に打ち勝つための各政策に取り組んでいきます。	-	
3	島田市の人口見込み、人口目標について、この数字は島田市全体のものであると思いますが、地域（川根地区）としてはどうなっていますか。	川根地区の人口については、2060年に1,413人になるとの見込みが出ています。若い世代の方が住んでもらえるような施策を展開していくことが最重要であると考えています。	-	
4	現状の出生数を把握していますか。	出生数については、毎月市民課による人口集計により把握しています。	-	
5	鷓山のキャンプ場の試算はできているのですか。	川根温泉やパラグライダーパーク等の川根地区の観光資源と組み合わせ、地域に長い時間滞在していただくことを目的とする施設です。 現在、地域の皆様自らが稼ぐ仕組みづくりを検討しています。計画では、年間利用者数5,000人を目指していきます。	◎	施策の柱3-5-2 ・大井川を軸に観光客を誘導する新たな資源として、観光客を誘導する新たな資源として、川根抜里・葛籠地区にパラグライダーパークやキャンプ場を整備していきます。
6	桜の保護はどうしていきますか。	農林課において、川根地区の桜トンネル、緑地公園、天王山公園の病害虫防除を実施しています。その他、剪定等の維持管理については、基本的には県土木事務所や建設課等の土地管理者にお願いしています。今後も貴重な観光資源として管理していきます。	-	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
7	<p>「茶業の振興と販売促進」が重点施策の1つあげられておりますが、近年茶業従事者の高齢化、後継者不足、更には茶価の低迷が続き、離農者が増え、それに伴い耕作放棄地が増大、将来が不安、また耕作放棄地は獣にとって温床となり、住環境の悪化も心配です。具体的な振興策はどんなことがありますか。</p>	<p>認定農業者やビジネス経営体の育成など、多様な対策で農業経営の担い手不足を解消するとともに、農地中間管理事業や人・農地プランの活用により担い手への農地集積を図ります。</p> <p>また、茶園基盤整備や緑茶化計画と連動した宣伝及び消費拡大、中山間地域における有機てん茶を製造する取組等へを支援することで茶業振興を図っていきます。</p>	◎	<p>施策の柱3-4-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林生産物を効率的に栽培・収穫・加工できる施設整備や、中山間地域の特色を活かした農業を進め、所得の向上を図ります。 ・認定農業者やビジネス経営体の育成、法人経営への誘導を進めるとともに、女性農業者の育成や新規就農者の支援など、多様な農業経営の担い手確保を図ります。 ・農地中間管理事業や人・農地プランの活用により、担い手への農地集積を図ります。
8	<p>茶畑やその他耕作放棄地の活用についてどのような取組がありますか。</p>	<p>茶から他作物への転換については、国の茶改植等支援事業において、茶樹の抜根に対する支援制度があります。</p> <p>また、既に耕作放棄地となってしまった箇所については、農地として再生する事業に対して助成制度（耕作放棄地緊急対策事業費補助金）があります。平成28年度は5件、解消面積、58aを実施しました。</p> <p>【内訳】 阪本地区2件（さつまいも15a、千両5a） 下川根地区（コンニャク10a） 笹間地区（キャベツ10a） 相賀地区（杏子18a）</p>	◎	<p>施策の柱4-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用や農業委員会の管理指導等により、耕作放棄地の発生抑制と解消を図ります。
9	<p>家山の前田地区の住宅地の農地法はどのようになっているのか。</p>	<p>前田地区にある農用地については、そのほとんどが農業振興地域整備計画に定める農用地となっています。ご自分の農地が青地か白地かなど、詳しい内容をお知りになりたい場合は農林課にお尋ねください。</p>	-	
10	<p>交通弱者への対策は何か考えていますか。</p>	<p>交通弱者対策は、公共交通施策だけではなく、福祉施策など様々な問題がありますので、総合的に検討していきます。</p>	◎	<p>施策の柱4-4-3（冒頭部）</p> <p>交通弱者に対する効果的で継続性の高い公共交通手段の維持・確保に努めます。</p>
11	<p>コミバスの今後の運用計画について説明してください。</p>	<p>平成28年度に大幅な路線、ダイヤの変更を実施しました。今後、バスの増便や路線の新設ではなく、利便性の向上に努めるとともに、自治会やNPOが主体となった運行システムの構築を中心に公共交通の整備を図っていきます。</p>	◎	<p>施策の柱4-4-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交通の利便を図るため、路線バス事業者に補助を行い、不採算バス路線を維持しつつ、利用状況等を勘案しながら、適宜必要な見直しを行います。 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
12	川根への直通のバスはできないのか、また、通学バスはできないのか。	現在、島田駅から川根温泉ホテルまで直通バスを運行しています。その路線を家山駅付近まで乗り入れることを検討していますが、公共交通網の形成において、大井川鐵道と競合しないための配慮が必要となりますので、慎重に検討しています。	◎	施策の柱4-4-3 ・地域住民の交通の利便を図るため、路線バス事業者に補助を行い、不採算バス路線を維持しつつ、利用状況等を勘案しながら、適宜必要な見直しを行います。
13	川根地区から高校へ通学する手段として、大井川鐵道だけに頼らない方法を市として補助してもらえないか。	現在、島田駅から川根温泉ホテルまで直通バスを運行しています。その路線を家山駅付近まで乗り入れることを検討していますが、公共交通網の形成において、大井川鐵道と競合しないための配慮が必要となりますので、慎重に検討しています。	◎	施策の柱4-4-3 ・地域住民の交通の利便を図るため、路線バス事業者に補助を行い、不採算バス路線を維持しつつ、利用状況等を勘案しながら、適宜必要な見直しを行います。
14	行政とのパートナーシップにある、「自助」「共助」「公助」の観点から、地域住民の果たす役割について教えてください。	地域づくりの主体は地域住民であるという認識のもと、地域住民の皆様には自分達で解決できることに対して、まず、自分達で取り組んでいただくとともに、行政も積極的に地域に関わっていくことが求められていることを認識しています。	—	
15	多様なライフスタイルに対応し、環境に配慮した住宅地の形成を図るとありますが、川根地区において何軒ぐらいを考えているかを教えてください。また、空き家バンクにかけの一軒あたりの補助金の予算はどれほどですか。	地区別土地利用でお示しした内容については、方向性を示すもので、具体的な件数を想定しているものではありません。 なお、空き家バンク事業は、空き家の登録や紹介に係る内容となります。 補助金については、空き家の改修費等に係るものがありますが、こちらについては1件あたり、内外装等の改修にかかった対象費用の1/2の額を補助するものです（ただし上限あり）	—	
16	川根地区のまちづくりの中で、地域資源を利用してと書いてありますが、桜の管理は誰が行うのですか。温泉は、地域を巻き込んでいるのですか。野守の池の担当はどちらの課ですか。有志で野守の池の浄化をしています、市とのコミュニケーションがとれません。	農林課において、川根地区の桜トンネル、緑地公園、天王山公園の病害虫防除を実施しています。その他、剪定等の維持管理については、基本的には県土木事務所や建設課等の土地管理者にお願いしています。今後も貴重な観光資源として管理していきます。 川根温泉については、地域住民の雇用の場として寄与しています。川根温泉は、大井川流域の観光資源の核施設として川根地域の魅力発信に努めています。 野守の池の管理については、窓口を川根地域総合課としています。川根地域総合課へのお話の内容により、建設課や観光課などでも対応させていただくこともあります。	—	
17	移住定住促進事業の若者の定住等について、移住として地域の資源を活かす施策が同時に必要と思いますが、どう考えていますか。	地域の魅力を生かす施策が移住にもつながってくると考えており、地域資源を活用できるような取組を検討していきます。	◎	施策の柱5-3-1 ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
18	川根地区は本当に移住定住を進めていく方向で考えていないのでは。観光や自然保護を進めても住みやすい町にはならないと思います。	市では、中山間地域である川根地区への移住定住施策を急務と考えています。 引き続き、現在実施している川根地区に限定した空き家バンクや空き家改修補助制度を実施していきます。	◎	施策の柱5-3-1 ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。
19	定住化の数値目標はあるのでしょうか。	定住化については、島田市にずっと住み続けていただき、現在住んでいる方がそのまま残ってもらうことを目標としています。 なお、移住者については、毎年40人を目標値として考えています。	-	
20	島田市緑茶化計画、シティプロモーションの今後の展望について教えてください。	緑茶グリーン、ロゴマークを積極的に活用し、「島田市緑茶化計画」の認知度の向上に努めます。また、アンテナショップや様々なイベント等を通じて、市内外において、「日本一のお茶のまち 島田」を多くの人に伝えていきます。	◎	施策の柱3-4-3 ・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売促進活動を国内外に展開していきます。 施策の柱5-2-2 ・アンテナショップや様々なイベント等を通じて、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出します。 施策の柱5-2-2 ・緑茶グリーン、ロゴマークを積極的に活用し、「島田市緑茶化計画」の認知度向上を図ります。
21	・川根地区と東海道沿線を結ぶ幹線道路「国道473号」の整備について、「地蔵峠バイパス」の進捗状況について教えてください。（大きな期待があり、通勤者の安全性・利便性が確保される。「賑わい交流拠点整備」の重要なアクセスポイントとなる） ・賑わい交流拠点からの道（国道473号）の改修はないのですか。 ・新東名IC周辺整備によって、川根地区への来客の足が止まることが懸念されるが、国道473号の整備を含めどのように考えますか。	現在整備している地蔵峠バイパス（民間処分場付近南から地蔵3号橋までの区間）L=420mは、平成30年代前期完成を目指し整備をしていますが、遅れている状況にあります。 当路線の整備促進を今後も国・県に強く働きかけていきます。	◎	施策の柱6-2-2 ・国・県へ広域幹線道路整備の必要性、事業効果などについて説明するなど、積極的な要望活動を行います。
22	生活道路改良事業について、何年くらいの予定をしていますか。実現性はありますか。どれくらいの金額をかけ、どれくらいの規模の改良を行うのですか。	現在は4つの路線の整備が動いています。 石上日掛線の舗装事業（～H37）、駅前駿遠橋線の道路改良（～H31）、抜里循環線の道路拡幅（～H31）、川根地区定住化促進基盤整備（川根身成地区）による道路拡幅等（～H35）を実施しています。今後については西向島線の改良をH32から、渡島久奈平線の改良をH30から計画しています。	◎	施策の柱6-1-1 ・地元要望等を踏まえ、生活に身近な道路の側溝改修、舗装修繕、道路拡幅等を計画的に進めます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
23	川根に対する一つ一つの方針、対策が独立しすぎて他の取組との連携が見えてきません。新東名島田金谷IC周辺整備と川根地区との連携は。パラグライダーパークやキャンプ場との連携は。また、新東名島田金谷IC周辺整備が川根地区の取組として入っていないのはどうしてですか。	賑わい交流拠点施設整備は、農業による地域振興を目的として整備されますが、観光機能についても大きな期待が寄せられます。 川根温泉やパラグライダーパーク、キャンプ場などの魅力的な観光拠点を効果的に情報発信することにより、観光客を呼び込み、川根地区の賑わいの創出や活性化を図っていきたく考えています。	◎	施策の柱3-5-2 ・賑わい交流拠点を核に、高速交通網と鉄道網が交わることで生まれる交通乗換機能（モータルコネクト）がもたらす経済波及効果を大井川流域全体に波及させていきます。 ・大井川を軸に観光客を誘導する新たな資源として、川根抜里・葛籠地区にパラグライダーパークやキャンプ場を整備していきます。
24	新東名島田金谷ICの賑わい広場は、ハイウェイオアシスになるのですか。サービスエリア等、高速から降りずに立ち寄るシステムになるのですか。	賑わい交流拠点施設については、新東名高速道路との接続状況からもハイウェイオアシスという機能は備えていません。 新東名高速道路を利用されるお客様については、旅の途中で気軽に寄ってもらえるよう、一時退出した場合でも、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金となる現在道の駅「もつくる新城」で実施されている「ETC2.0」の導入を検討していきます。	-	
25	新たな若者が定住する宅地開発はありますか。	市の事業として宅地開発を事業化する予定はありませんが、既存宅地の定住化促進のため、川根身成地区の住環境整備における、生活道路や排水路の整備を計画しており、定住化につなげたいと考えています。	-	
26	・光、ネット環境の整備の予定を教えてください。 ・川根北部地区の通信網の現在までの詳細を説明してください。	島田市北部地区の約2,800世帯を対象とした超高速インターネットサービスを開始するために、通信事業者が行う光ファイバ網整備事業に対し事業費の一部を補助することを決定し、現在通信事業者が整備を進めています。 この整備により、超高速インターネットの世帯カバー率は、整備前の約92%から99.4%に改善します。整備事業については、平成30年3月までにサービスを開始する予定です。 今年度、光ファイバ網整備事業で整備ができない笹間地区、伊久美地区の一部につきましては、今後も引き続き、市から事業者へ提案を求め、平成30年度整備を目指して必要な支援をしていきたいと考えています。	◎	施策の柱6-1-4 ・光インターネットなど超高速インターネットが利用できない地区について、通信事業者が行う通信設備等の整備を支援し、未整備地区の解消を図ります。
27	川根地区での実施予定事業に、商工会跡地の再利用の計画が入っていませんが、どんな状況でしょうか。約310坪の広さがあり、高齢者や子ども達の集まる広場や、老人憩いの家のようなものの併設は考えられませんか。チャリムや地区センターや健康プラザがありますが、いずれも一長一短。使い勝手が良いとは思えません。	商工会、森林組合の跡地の利用については、若者の住宅としての分譲地を検討しましたが、隣接道路の狭さなどにより、市場が動かない等の懸念があることから、今後の方向性について川根地区のために有効活用できるように検討していきます。	◎	施策の柱7-4-3 ・公的不動産の管理・活用に関する一連の事業に対し、民間の資金や経営能力、技術的能力を取り入れることが可能かどうかを念頭に置き、公的不動産の価値の向上にとって最も合理的な手法を選択します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
28	もっと大胆な政策を。島田市が儲かると思います。	<p>経済の好循環をつくる「稼ぐ力」をつけることが求められています。</p> <p>新東名島田金谷IC周辺整備事業や、空港周辺プロジェクトを進め、賑わいの創出を産業振興につなげていくほか、島田市産業支援センターを通じて力を入れている新規創業支援や販路拡大支援等を通じて、当市の経済を支える中小企業の潜在力を高めていきます。</p>	—	
29	川根地区は、島田の北端に位置し、人口減少、空き家の増加、超高齢化など、大きな問題を抱え、近年は鳥獣被害の増加が追い討ちをかけています。言ってみれば、多くの問題の最前線に立っているとも言えます。地域でも市に対しての多くの要望を出していますが、いずれも深刻な問題ばかりですので、真摯な対応をお願いします。	<p>川根地区の人口減少問題については、移住定住を促進するため、空き家バンク等の取組を進めていきます。</p> <p>鳥獣被害の対策については、市内全域の課題であることから、防止のための対策を進めていきます。要望については、できる限り対応していきたいと考えていますので、これからもお気づきの点がございましたら、御提出いただけたらと思います。</p>	◎	<p>施策の柱3-4-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林産物に多大な影響をもたらす有害鳥獣の対策を、地域や関係団体との連携により進めていきます。 <p>施策の柱5-3-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。
30	各地から来る人に対しアンケートを実施し、さらなる計画を作ってはどうか。	<p>島田市に転入、島田市から転出される方に対して、「人口減少対策」に関するアンケートを実施しており、今後の市政運営に活かしていきます。</p>	—	
31	総合計画や国土利用計画は勿論、当地域においても「過疎地域自立促進計画」「島田市・川根町まちづくり計画」等、多くの計画が策定されているが、それらを踏まえて地域の明確なビジョンが実施に向けて推進されているとは思えません。各計画に上位、下位はあっても、その基本的な考え方は共通するものがあり、それらを具体的に実践することこそ重要であると考えます。今回の第2次総合計画の策定に当たっては、その辺を十分考慮し、地域特性を踏まえ、実施を前提とした明日に希望のある計画としてほしい。計画策定が目標ではなく、各種計画の考え方を市民に十分説明し、その共通する理念を踏まえ、市民の声を把握し反映してほしい。そして、その役割を支所とともに、日常的に取り組んでいきたい。	<p>第2次島田市総合計画の策定にあたっては、地域別のまちづくりの方針を示し、将来像の実現に向け、実行性のあるものとしていきます。</p> <p>また、計画の考え方を市民に十分に理解していただくため、わかりやすい計画づくりに努めていきます。</p>	—	
32	行政の優先順位として、①市民の生命財産を守る。②明日に希望を持たせる地域づくり。③当面のニーズの把握、実施	<p>御意見のとおり、いずれの視点も重要であると考えます。</p>	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
33	平成20年4月1日島田市と川根町と合併して、来年は10年を迎えます。金谷町との合併10周年記念事業とは異なった意味でも、10年を契機として、明日への川根地域と島田市のまちづくりを視野に、10周年を記念した何らかの取組を市民とともに実施してほしい。	島田市・川根町の合併10周年を迎えるにあたり、川根地区で開催される既存事業への冠付けによるPRや、広報しただにおける川根地区の特集などの事業実施を予定しています。	—	
34	島田市との合併時に川根町の人口は6千人ありましたが、現在は4,900人と、今後小さな集落は人が住まなくなります。地域の荒廃が心配です。どのように対処していいか心配です。	川根地区の人口減少問題については、移住定住を促進するため、都市圏に対して移住のPRを展開するとともに、空き家バンク事業等の取組を進めていきます。 また、若い世代（子育て世代）に住んでもらうために何が必要であるのか、地域の皆様と議論し、御意見を伺っていきたくと考えています。	◎	施策の柱5-3-1 ・首都圏をはじめとする移住相談会や体験ツアーの開催により、当市の特徴であるほどよい田舎暮らしをPRします。 ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。 施策の柱7-1-1 ・幅広い世代からの意見、提案を聞く機会や、市民と行政が直接話し合う機会を設けます。
35	人口減少について、川根地区は市内全域と比較しても、急速かつ急激な減少が現れ、まちづくりならぬ地域破壊現象が見られるようになると思うが、どのように考えていますか。	川根地区の人口減少問題については、移住定住を促進するため、都市圏に対して移住のPRを展開するとともに、空き家バンク事業等の取組を進めていきます。 また、若い世代（子育て世代）に住んでもらうために何が必要であるのか、地域の皆様と議論し、御意見を伺っていきたくと考えています。	◎	施策の柱5-3-1 ・首都圏をはじめとする移住相談会や体験ツアーの開催により、当市の特徴であるほどよい田舎暮らしをPRします。 ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。 施策の柱7-1-1 ・幅広い世代からの意見、提案を聞く機会や、市民と行政が直接話し合う機会を設けます。
36	地域医療について、川根地区は内科医より整形外科医を望んでいると思います。	川根地区の診療所が1か所休止し、住民の不安や他の診療所の医師の負担が大きくなっており、改善すべき課題だと認識しています。 しかし、山間部への医療機関の誘致や医師の確保については、さまざまな課題も抱えており、関係機関等のご意見等も伺いながら、医療体制の充実を図っていきたくと考えています。	◎	施策の柱1-2-4 ・「地域医療基本条例」に基づき、安定した地域医療体制の構築に向け、市民・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たしやすい環境整備に努めます。
37	市民病院の入院のベッド数が少なくなることに不安を覚えます。	ベッド数については、現在の536床から445床へと減少しますが、国の方針のもと、急性期機能を担う医療に重点を置く方向を明確化したことによるものであります。	◎	施策の柱1-2-3 ・志太榛原保健医療圏における中核医療機関として、急性期を中心とする医療を継続的に担う新病院を建設します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
38	市民の防災訓練が、旧態変わらぬ方法で実施され、最近の水害の事例をみると、とても対応できない状況にあります。避難場所も、現状ではとても避難できる場所とは考えられず、地域を挙げた再検討が必要であり、市から適切な指導をして何とかしてほしいです。	静岡県の調査結果を踏まえた、洪水ハザードマップや、土砂災害ハザードマップを更新し、地区の避難体制等の整備を下支えしていきます。 また、自主防災組織の活動に対する支援を行い、自主防災組織の強化を図っていきます。	◎	施策の柱1-1-2 ・県の調査結果を踏まえ、洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップを更新し、地区の避難体制等の整備を下支えします。 ・自主防災組織の活動体制の充実や、災害時における地区毎の救援体制の構築に向けた取組を支援します。
39	老後対策の充実をお願いします。特別養護老人ホームが増えたら家族が安心し、暮らしやすくなり、人口が増えると思います。	第7次島田市高齢者保健福祉計画により、現在、特別養護老人ホームを1施設建設中です。そのため、市内に8施設となり、待機者はほぼ解消される見込みです。（入所要件は原則要介護3以上） なお、市は、住み慣れた地域で、誰もが最期まで自分らしく暮らせるよう医療・介護・予防・住まい・生活介護が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指しています。	◎	施策の柱1-3-4 ・地域包括支援センターにおいて、多様な相談を総合的に受け止め、関係機関と連携し高齢者が適切なサービスや社会資源を活用できるよう支援します。 施策の柱1-3-5 ・高齢者の介護ニーズを捉え、必要な介護サービスの基盤整備により提供体制を強化していきます。
40	大学が市にあってもいいのではないのでしょうか。	大学の誘致については、立地するための土地の確保が課題であるほか、設置者に対する施設整備の補助金が必要となるなど、多大な財政負担が生じます。 そのため当面の計画はありませんが、情報を収集し、可能性のある場合には前向きに検討していきたいと考えています。	×	
41	川根にフットサル場がほしいです。	申し訳ありませんが、現在のところフットサル場の整備について計画はありません。 なお、川根小学校の屋内運動場にネットを配備し、フットサルもプレイが可能となるよう改築したので御利用ください。	×	
42	川根温泉から野守の池への開発事業を進めていただきたい。人口減少を止めるため、事業所、工場を増やす事業を進めてほしい。	市が主体となる大規模な開発は予定していませんが、川根身成地区の定住化を促進するため、生活道路や排水路等の基盤整備を進めます。	×	
43	身成堀之内、北地域の大井川整備事業が終わり、クロスカントリーコースが設置されたため、その活用を推進していただきたい。	貴重な地域資源であり、観光への活用も考えられますので、参考にさせていただきます。	◎	施策の柱3-5-1 ・市内観光施設と周辺観光資源の最新情報を、多くのツールを活用して効果的に発信します。
44	夏になると、家山川に多数のキャンプ、バーベキューをする人たちが集まるため、家山川付近で市営のキャンプ場、バーベキュー施設ができないのでしょうか。	貴重な地域資源であり、新たな観光資源としての活用も考えられますので参考にさせていただきます。川根地区におきましては、現在、鶺山キャンプ場の整備計画が進んでおり、そちらを優先したいと考えています。	◎	施策の柱3-5-1 ・市内観光施設と周辺観光資源の最新情報を、多くのツールを活用して効果的に発信します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
45	パラグライダーパークは高い場所にあるため、東京のFMラジオが全部入ります。若い人たちに紹介したらどうでしょうか。	貴重な情報を提供していただき、ありがとうございます。機会をとらえて、紹介していきたいと思います。	◎	施策の柱3-5-1 ・市内観光施設と周辺観光資源の最新情報を、多くのツールを活用して効果的に発信します。
46	身成河岸の西側が整備されて遊歩道ができたので、季節の花を植えて桜につづく名所にしたらどうか。	貴重なご提案をありがとうございます。花の名所にするためには、行政だけではできません。身成地区の皆様のご協力をいただけるようでしたら、検討したいと思います。	◎	施策の柱3-5-1 ・市内観光施設と周辺観光資源の最新情報を、多くのツールを活用して効果的に発信します。
47	野守の池のイルミネーションの復活を希望します。	申し訳ありませんが、現段階では復活の予定はありません。	×	
48	盆踊りのちょうちんをせめていこいの家まで延ばしてほしい。	野守まつりのことと思われませんが、主催は実行委員会及び観光協会となっているため、そちらにお伝えしておきます。	—	
49	川根の土地利用として、農用地の活用が具体的内容が見えてこないです。第一次産業者への支援がなければ、やる人もそのために移住定住する人もいないと思います。	主に栽培されているお茶に関しては、有機てん茶の生産に転換するなど、特色ある中山間地域の農林産物が売れるアイデアを提案し、必要な支援を行っていくとともに、法人化等に対応できる人材の育成、帰農者の受け入れなど、多様な担い手の確保に努め、儲かる農業の仕組みを作っていきます。	◎	施策の柱3-4-1 ・農林生産物を効率的に栽培・収穫・加工できる施設整備や、中山間地域の特色を活かした農業を進め、所得の向上を図ります。 ・農地中間管理事業や人・農地プランの活用により、担い手への農地集積を図ります。 ・基幹産業である茶業の活性化を図るため、付加価値のあるお茶や売れるお茶の生産を目指します。
50	荒廃茶園の整備推進をお願いします。	既に耕作放棄地となった農地への対策としては、島田市農業委員会との連携による直接指導や、国の交付金事業の活用により再生・解消に努めていきます。	◎	施策の柱4-2-2 ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用や農業委員会の管理指導等により、耕作放棄地の発生抑制と解消を図ります。
51	茶業経営が厳しくなり、茶園の荒廃が目立ちます。観光への影響も懸念されるため、改植等の助成をお願いしたいです。	市内の多くの茶園で、茶樹の高齢化により樹勢が衰え、生葉の品質と収穫量の低下が懸念されています。その対策として、市や国の茶改植の支援事業を利用し、改植を促進することで、茶園の若返りを図っていきます。 併せて、機械化対応の園地整備と品種茶の普及を促進していきます。	◎	施策の柱3-4-2 ・農業経営の安定化を目指し、小規模かつ不整形な農地を集積して大型機械を導入する取組を支援します。 ・樹齢の若返りを図る目的で茶改植を進める農業者を支援します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
52	川根地区は山間地につき、大規模な農業の発展は望めないと思います。島田市の初倉地区に工場を誘致し、この川根地区は公害のない自然豊かなベッドタウンを目指したかどうか。川根地区は地盤が固く、地震に強いとも聞いております。再度地盤の強度等を測定し、地震に強い土地ということを宣伝したらいいと思います。	御提案ありがとうございます。 川根中学校北側付近について、宅地開発を誘導する道路、排水路の基盤整備を進めていきます。	○	施策の柱4-4-1（追加） ・身成地区への生活道路・排水路整備による宅地開発を促すことで、定住を促進します。
53	川根から人口を減らさないように、入ってくる人を待つのではなく、企業誘致などを進め、仕事場をつくってもらいたい。	川根地区の人口減少問題については、移住定住を促進するため、空き家バンク事業等の取組を進めていきます。 また、企業誘致については、川根地区からも通勤可能となる、新東名島田金谷IC周辺を核として取り組んでいきたいと考えています。	◎	施策の柱5-3-1 ・空き家バンク事業や空き家改修事業など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。 施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。
54	企業が来ることで人口減少もなくなると思います。	御提案をいただいたとおり、企業誘致を進めることで雇用の場を創出し、立地による効果を市内全域に波及できるよう努めていきます。	◎	施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。
55	若者の収入が低いと思います。	要因の一つとして、景気の不透明感から、各企業が非正規雇用を拡大している傾向が挙げられます。 当市では、平成28年度に島田市産業支援センター「おびサポ」を開設し、販路拡大についての相談や、設備投資への補助金などにより中小企業の経営支援を行い、中小企業の稼ぐ力を蓄え、経済に好循環を生み、労働条件の向上にも反映していくよう、取組を進めています。	◎	施策の柱3-2-1 ・地域産業を支える中小企業の経営基盤を強化するため、設備投資への補助などの支援を行います。 ・魅力ある事業展開を図ろうとする市内創業者や新産業進出事業者、国内外への販路開拓を目指す企業を支援していきます。
56	電車、バスなど、子ども達が島田などに通学するために利用する場合、いろんなところから乗れるようにしてほしい。	全ての方が利用できる公共交通の構築が理想ですが、必要性や効率性を考慮しなければなりません。全ての要望にはお応えできませんが、現在、自治会やNPOが主体となった運行システムの構築によりバス利用の利便性の向上を図りたいと考えます。	◎	施策の柱4-4-3 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。
57	川根本町と連携して、川根から大井川鉄道で高校へ通えるようにしてほしい。	大井川鉄道のダイヤや便数については、経営判断による場所ですので、市と町が連携しても難しい問題だと考えています。川根本町との連携については、バスの接続などを検討していきます。	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
58	若い人たちの住む場所をつくってほしい。	市の事業として、宅地開発を実施する予定はありませんが、既存宅地の定住化促進のため、川根身成地区の住環境整備における、生活道路や排水路の整備を進めていきます。	○	施策の柱5-3-1（追加） ・身成地区の生活道路・排水路整備により宅地開発を誘導し、川根地域への定住を促進します。
59	学生が地元に戻ってきて、自分が生まれた町に住んでくれるための支援、助成をしてほしい。若者住宅のような建物を増やしてほしい。（地元の消防団だけでなく、青年団等の入団でも優遇を受けられるようにしてほしい）	取組の一つとして、ICTの活用などにより新たな雇用を創出し、若年世代から地元での就職やU・I・Jターン先として選ばれるまちづくりを推進していきます。	◎	施策の柱3-1（基本的施策の方向性） ・ICTの活用などにより新たな雇用を創出し、若年世代から地元での就職やU・I・Jターン先として選ばれるまちづくりと地域経済の持続的な発展を目指します。
60	温泉があるため、身成地域はいろいろと発展していくが、家山地区は本当にさびしいものです。もう少し家山地区の方へも力をいれてほしいです。バスも温泉まではいきませんが、家山の人たちは大鉄の関係で島田へ行くバスもなく、あっても乗り継ぎが必要で、高齢者にとっては大変なことだと思います。	現在、島田駅から川根温泉ホテルまで直通バスを運行しています。その路線を家山駅付近まで乗り入れることを検討しています。	◎	施策の柱4-4-3 ・運行地域、予約方法、運行形態などを工夫し、公共交通としてタクシーを利用した移動手段の構築を目指します。 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。
61	環境保全（ダイオキシン等）について、ゴミ焼却施設が当身成地区にもありますが、老朽化が進み、万が一の災害等で周辺への影響がでないか心配です。早めの対応が必要だと思います。	旧川根町清掃センターの解体について、平成30年度より、ダイオキシン等の事前調査・分析作業を実施していきます。	○	施策の柱4-1-2 ・旧清掃センターの解体に向けた田代環境プラザへの機能一元化や旧川根町清掃センターの解体について検討します。 ※下線部を追加しました。
62	高齢の人たちだけでなく、若い人たちが住むところをつくってくれないと、もっと人口が減ってしまうと思います。今のままでは、川根に定住するところがないと思います。	空き家等を活用した空き家バンク事業を展開し、移住定住を図っていきます。 また、既存宅地の定住化促進のため、川根身成地区の住環境整備における、生活道路や排水路の整備を実施していきます。	◎	施策の柱5-3-1 ・空き家バンクや空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。
63	空き家バンクより、もっと具体的な対応が必要だと思います。（空き家に接する農地も活用できるなど）	移住を促進する取組については、空き家バンクの運営のほか、移住体験ツアーの展開や、中古住宅の購入に係る奨励金など、既存ストックを有効活用した事業を展開していきます。	◎	施策の柱5-3-1 ・空き家バンクや空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。 ・首都圏における移住相談会や体験ツアーの開催をはじめ、当市の特徴である「ほどよい田舎暮らし」をPRし、住まいや仕事に関する情報発信力を強化します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
64	空き家バンクは現状、ストック不足が大きな課題です。ストックの有効活用の前に、空き家の調査など、ストック増のためのアクションが必要であると思います。	現在、地元自治会の協力を得ながら、空き家のストック増加のための調査を実施しています。 現在、利用希望者が多く、需要が供給を大きく上回っている状況にあるため、地元自治会にも協力を求めながら空き家の把握に努めるとともに、空き家の他人への貸出、売却が進むようPRしていきます。	◎	施策の柱4-4-1 ・住みよい生活環境を確保するため、特定空き家の発生を抑制し一般の空き家の流通を促進します。 施策の柱5-3-1 ・空き家バンクや空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。
65	山間地集落における飲料水確保について、市民が飲料水を得るには、居住場所により、上水道、簡易水道、飲料水供給施設の何れかにより飲料水を確保できることになっています。川根地域等の山間部に位置する小集落では、ほとんど飲料水供給施設により、生活水を得ておりますが、この施設は自分達で整備し、管理運営も自力、修理も行政の補助金があるものの基本的には自分達で行っています。近年、高齢化、過疎化が進み、濾過槽の掃除、配管の管理等々、作業に困難をきたしております。加えて、市から1/2の補助があるとはいえ、50万、100万といった修繕費の捻出に苦慮している状況となっています。同じ市民として安全で安心して飲める水を確保するために、水道料を近隣の簡易水道料金と同程度に納めた場合には、管理運営の主体（地元も行う）を市が担当してくださると安心して住み続けることができ、また、都市部からの移住者の受入にも大きな力となりますので、ご検討をお願いします。	中山間地域の飲料水供給施設につきましては、管理の方法や支援のあり方など検討させていただきます。	◎	施策の柱6-1-5 ・中山間地域の飲料水供給施設について、管理の方法や支援のあり方を検討します。
66	子供を生み育てやすい地域づくりが目標と書いてありますが、公園整備が必要と主婦達が声を上げています。	公園緑地については、市民の憩いの場であるとともに、避難場所としての機能を併せ持つ社会基盤であることから、計画的な配置や整備について検討を進めます。	◎	施策の柱6-1-3 ・「緑の基本計画」に基づき、向島町公園などの公園整備を推進し、市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくりや、災害時に避難地として機能する公園を目指します。
67	抜里の通学路の整備を進めてほしいです。	通学路について、危険箇所などがございましたら、要望として市役所または支所まで御連絡をお願いします。	◎	施策の柱4-4-4 ・狭隘な生活道路について、地元要望等を踏まえ、道路側溝の改修、舗装の修繕、道路の拡幅など危険箇所の解消を進めます。

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。